

県大会などドロー作成のルール（平成 29 年度）

以下の原則に従い、顧問代表者会議（またはそれに代わる会議）においてドローを作成する。なお、特殊な事情については、顧問代表者会議で検討する。

1 IH 県予選団体戦（ドローサイズ 20）

- ①前年度県新人大会の優勝校を第 1 シード、準優勝校を第 2 シードとし、地区予選を免除する。
前年度県新人大会 3・4 位の学校の属する地区の基本数をそれぞれ 1 増やす。
- ②地区予選勝ち上がり校のうち、以下の条件を満たす学校から県大会第 3・4 シードを選ぶ。
 - ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校
 - ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校
- ③残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として初回戦は同地区同士の対戦にしない。

2 新人大会団体戦（ドローサイズ 16）

- ①地区予選を勝ち上がった学校を県大会出場校とする（地区予選免除の学校を設定しない）。
IH 県予選優勝校・準優勝校が属する地区の基本数をそれぞれ 1 増やす。
- ②県大会出場校のうち、以下の条件を満たす学校から県大会第 1～4 シードを選ぶ。
 - ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校
 - ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校
- ③残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として初回戦は同地区同士の対戦にしない。

3 IH 県予選および県新人大会シングルス（ドローサイズ 32）

- ①エントリーのあった選手のうち、高体連シングルスポイントランキング上位 8 名を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。
- ②地区予選勝ち上がり選手のうち、ポイントランキング上位 4 人を第 9～12 シードに配置する。
- ③残りの選手はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として地区予選勝ち上がり選手同士の 1 回戦は同地区同士の対戦にしない。また、地区予選免除選手との 1 回戦は同校同士の対戦にしない。

4 IH 県予選および県新人大会ダブルス（ドローサイズ 24）

- ①エントリーのあった組のうち、高体連ダブルスポイントランキング上位 4 組を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。
- ②地区予選勝ち上がり組のうち、ポイントランキング上位 4 組を第 5～8 シードに配置する。
- ③残りの組はフリー抽選でドロー位置を決めるが、1 回戦は同地区同士の対戦にしない。

5 強化合同練習会・予選

- ①予選ドロー会議前日に公式 HP 上に掲載されている該当種目ポイントランキングにおける上位 4 人（組）を予選免除とする。なお、ポイントランキングは行われる当該種目のものを参照する。
- ②上記①以外のポイント保持者（組）を、保持ポイント順にブロックシードに配置する。
上記①以外のポイント保持者（組）がブロック数を下回る場合、残りのブロックシードは顧問代表者会議で決める。
- ③上記①②以外のポイント保持者（組）を、保持ポイント順にブロック裏シードに配置する。
- ④残りの選手（組）はドロー抽選ソフトによる自動抽選でドロー位置を決める。

6 強化合同練習会・本戦（ドローサイズ 単 32、複 男子 32・女子 24）

- ①予選免除の 4 人（組）をポイントランキング順にシードする。
- ②予選勝ち上がり選手のうちポイントランキング上位 4 人（組）を第 5～8 シードに配置する。
- ③残りの選手（組）はフリー抽選でドロー位置を決めるが、初回戦は同校同士の対戦にしない。

（.....は今年度追加・改訂部分）